

令和5年度市政モニターへの「ユニバーサルデザインに関するアンケート」 集計結果

【調査目的】 ユニバーサルデザインに関して、日頃感じていることや意見、提言等を伺い、今後の取組の参考とする。

【実施期間】 令和5年10月12日から11月2日まで

【対象者数】 市政モニター83名

【回答者数】 57名（回答率 68.8%）

ご協力いただき
ありがとう
ございました！



会津若松市UDキャラクター
ゆにばくん

《アンケート結果の見方》

(1) 調査の数値

- ① 調査結果の数値は、原則として回答率（%）で表記しています。
- ② 数値は、小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示しています。そのため、選択肢の数値（%）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

(2) 図表の見方

- ① グラフや表の中で、アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。
- ② 比較分析などの際に調査項目がなかった場合、図表に「-」と表示しています。
- ③ グラフの中で、回答がなかった場合等にスペースの都合上「0.0」の表記を省略している場合があります。

(3) 自由意見について

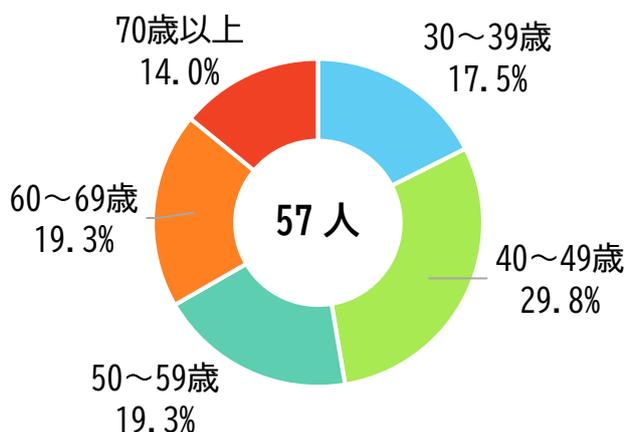
明らかな誤字・脱字等の訂正を除き、原文のまま掲載しています。

【アンケート結果】

※問1は回答者の氏名を問う設問のため省略

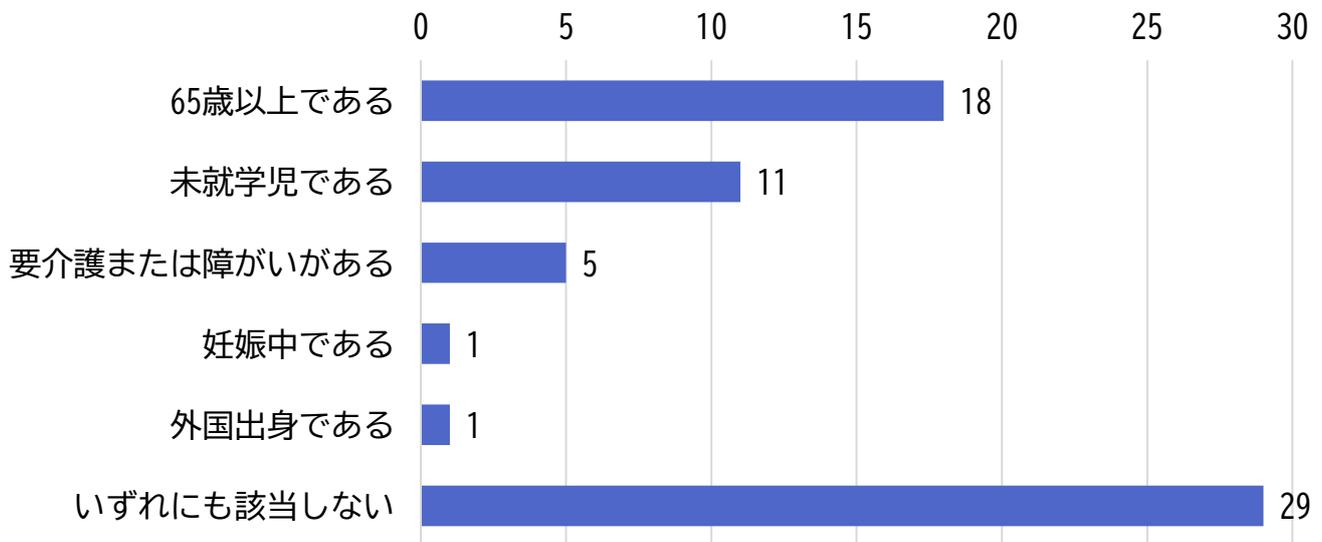
問2：あなたの年齢は次のどれにあたりますか。

項目	人数(人)	割合
18～29歳	0	-
30～39歳	10	17.5%
40～49歳	17	29.8%
50～59歳	11	19.3%
60～69歳	11	19.3%
70歳以上	8	14.0%



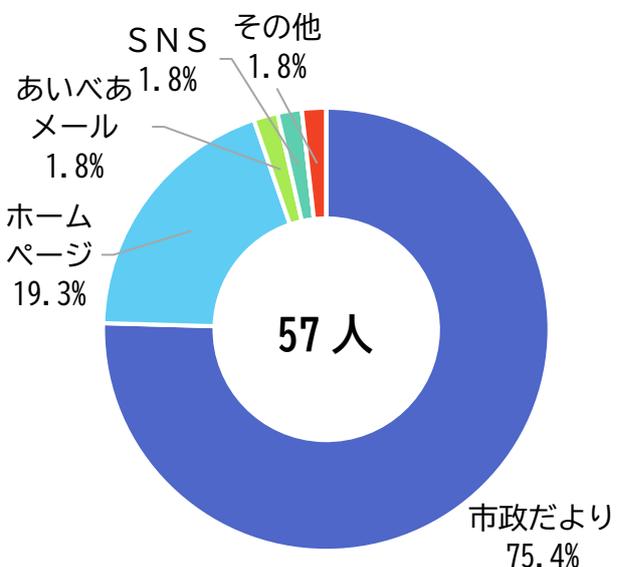
問3：あなた、もしくはあなたと同居する方が次のどれに該当するか教えてください。
 (あてはまるものをすべて選んでください。)

(単位:人)



問4：市が発信する情報を収集する方法として最も利用する頻度が多いのは次のどれですか。
 (あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
市政だより (同時配付のチラシも含む)	43	75.4%
ホームページ (会津若松プラスも含む)	11	19.3%
あいべあメール	1	1.8%
SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)	1	1.8%
FMラジオ	0	-
その他	1	1.8%



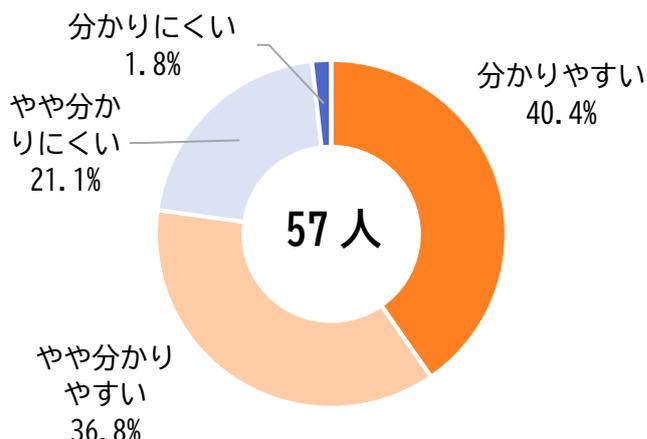
【「その他」の内容】

- ・ライン情報 (会津若松市)

問5：市が発信する情報について、どのような印象を持っていますか。
 (それぞれにあてはまるものを1つ選び、その理由をお書きください。)

①内容の分かりやすさ

項目	人数(人)	割合
分かりやすい	23	40.4%
やや分かりやすい	21	36.8%
やや分かりにくい	12	21.1%
分かりにくい	1	1.8%



◎回答の理由 ※自由記述

【「やや分かりやすい」または「分かりやすい」】

年代	回答
30代	手軽
30代	情報が多い。
30代	内容の理解がしやすいから。
30代	分かりやすく記載されているから。
30代	わかりやすいと思います。
40代	分かりにくいと感じたことがなかったから。
40代	市政だよりのみについてとなるが、受動的に読めるので興味のない情報も目についてわかりやすいと思う。
40代	市政だよりが良い。
40代	文字が小さ過ぎなくて良い。
40代	わかりやすいです。
40代	マルシェなどの情報も知りたいです。
40代	理解できている。
40代	あいべあメールは一案件につき一通で、探す手間などもないので。
40代	カラーで文字が読みやすい大きさ。
40代	写真がよく使われていて見やすいから。
40代	必要な情報が見つかりやすい。
40代	市政だよりの書式は昔から大きな変化が無く年配の方でもわかりやすいと思う。
50代	市の行事などイベントがわかりやすい。
50代	それなりに情報は伝わるので。
50代	毎月大体の構成が決まっていて、知りたい情報をすぐ探せてわかりやすい。
50代	市政だよりが読みやすい。
50代	良いと思うが、情報量が多い。

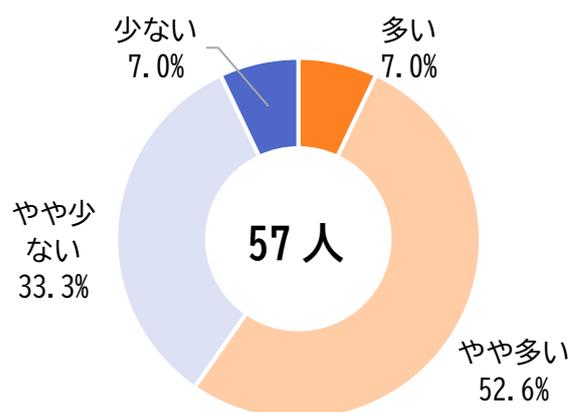
年代	回答
50代	見やすいレイアウト
60代	最近では表紙の写真もキレイで、内容もわかりやすく、見やすくなったと感じています。
60代	要点が簡潔に書いてあり、わかりやすい。
60代	図表などがありわかりやすい。
60代	市政だよりやホームページでの情報が見やすく工夫されている。
60代	適切なタイトルと簡潔な文章
60代	その時の情報がリアルタイムに発信されている。
60代	字が大きく写真が多く分かりやすく見やすい。
60代	市政だより（紙面）にて、文章で発信されているため。
70歳以上	大文字。イラストで見やすい。
70歳以上	項目ごとにわかり易く書いてある。
70歳以上	親切さを感じます。
70歳以上	カタカナ文字や略記号が多いと分かりにくくなる。
70歳以上	整理して編集がしてあるから。

【「やや分かりにくい」または「分かりにくい」】

年代	回答
30代	詳細が載っていなかったりする。
30代	広報誌が見つらいと感じる時があるため。
30代	自分から知ろうとしないと詳しい情報を得にくい。
30代	アーカイブの検索がしづらい。特に市政だよりとのリンクが分かりづらいつ感じる。
40代	どこにどの情報があるのか迷う。
40代	インターネットでの情報が少なく、まとまっていない。
40代	中のチラシが多すぎて見るのも嫌になる。
50代	ホームページで調べようとしても、その場所に行かなかつたり、場所が分かりづらかつたりする
50代	欲しい情報がすぐ見つからない。
60代	英語、カタカナでの名称がわかりにくい。
60代	気になることがある時しか見ない、調べない
60代	LINEに入ってくるので、気軽に確認しやすい。
70歳以上	古い情報がいつまでも掲載している時があり、更新は随時、早めをお願いしたい。

②情報発信手段の種類

項目	人数(人)	割合
多い	4	7.0%
やや多い	30	52.6%
やや少ない	19	33.3%
少ない	4	7.0%



◎回答の理由 ※自由記述

【「やや多い」または「多い」】

年代	回答
30代	普通で丁度良いと思います。
30代	まあ普通かと思う。
30代	色々あるが、利便性がわからないのも多いと思っている。また、利用頻度が少ないのに発信しているものもあると感じる。
40代	一度に色んな分野のことが記載されているから。
40代	FM放送を聞く機会がないため。
40代	紙、メール、PDF、ホームページなどがあるため、十分と感じます。
40代	市政だよりのサイドの紙が多い。
40代	SNSは観光向けだけで良いと思う。
50代	LINEや市政だよりで発信されていると思う。例えば、学校などにおたよりでの発信もよいと思う。
50代	適切だと思いますが、回答選択に無かった。
50代	複数あるから。
50代	「やや多い」を選びましたが、ちょうど良いと思います。
50代	必要な情報は、何らかの方法で得ることが出来ているので満足しています。
60代	その月によって多い月がある。
60代	これだけやってもらえれば十分。
60代	様々な情報があり、それを市民に提供する必要性はわかる。
60代	ホームページとプラスワンの区別が少しわからない
70歳以上	市政だよりの回覧などでも地域の情報がわかりいいと思う。
70歳以上	ラジオで情報収集している人はどれくらいいるのか確認する必要があるのでは…。
70歳以上	少し情報を取得するTOOLが豊富なため、どれを使うのがよいか悩む。
70歳以上	定期的にアンケート等を実施し、その結果をもとに優先度を決め、情報発信の取捨選択の参考にして欲しい。
70歳以上	一寸全て目を通すのが、大変になったから。

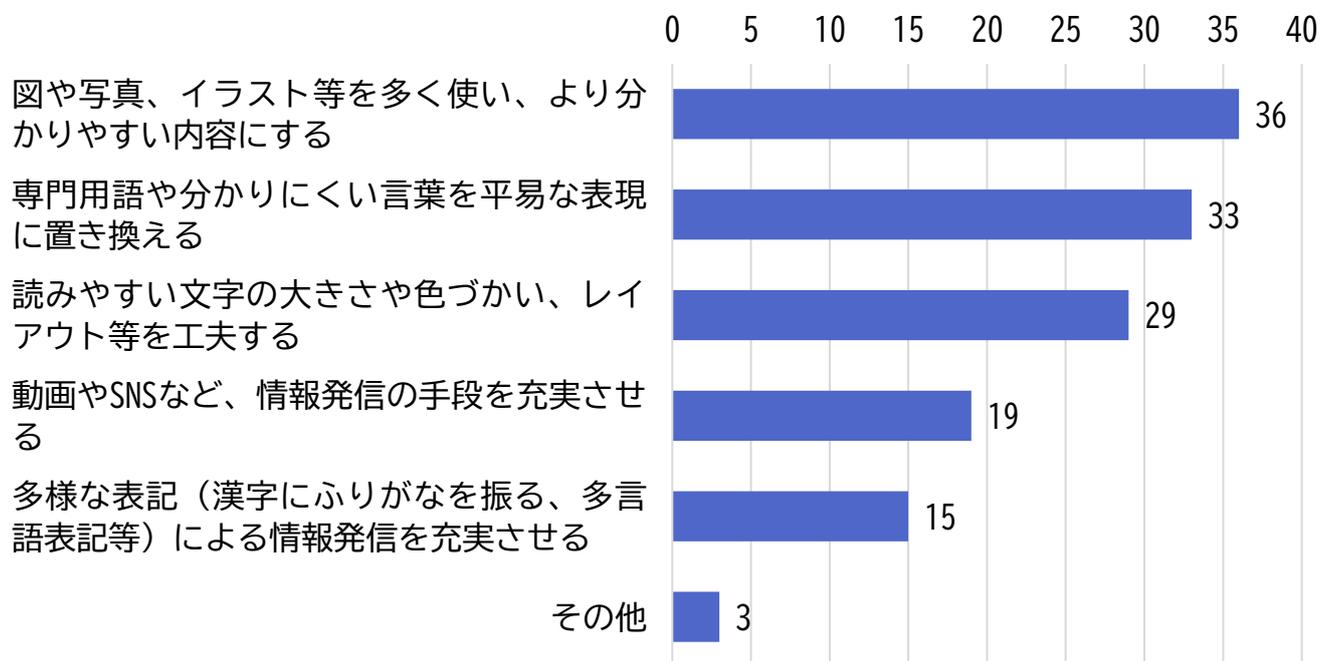
【「やや少ない」または「少ない」】

年代	回答
30代	個人の感想です。
30代	市政だより以外わからない。
30代	もっといろいろな方法で発信しても良いと思う。
30代	自分で調べることが多い。
40代	どこに情報があるのか分からなくて、見つけても関係のない事柄である事があった。
40代	インターネットでの情報が少なく、まとまっていない。
40代	特に問題なし。
40代	もっと情報がほしい。
40代	もっと詳しく書いて欲しい。
40代	ホームページにはなかなかアクセスしないので、タイムリーな話題には遅延を感じる。
40代	ユーチューブでリアルタイム発信してもよいと思います。
40代	別な手段で情報をどんどん発信して行ってほしい。控え目な気がする。
40代	ホームページなど知らないため。
50代	インターネットなど特定の手段でしかわからない情報がある。
50代	あまりインターネットを使わないから。
60代	テレビを見ているときが多いので、テレビでのお知らせを多くしてほしい。
60代	もっと多くても良い。
60代	市政だよりのみの発信のため、情報量は少ないと思う。
70歳以上	高齢者への手段がやや少ない。

問6：市が発信する情報について、多様な方（※）にとって分かりやすく、伝わりやすいものとするためには、どのような点に配慮してほしいと思いますか。（あてはまるものをすべて選んでください。）

（※）例：高齢者、障がいのある方、外国人、子ども など

（単位：人）



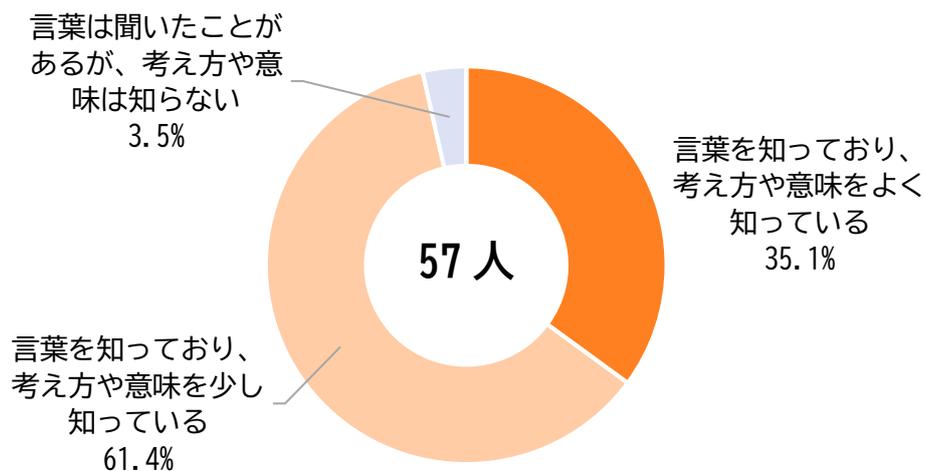
【「その他」の内容】

- ・人によって違う欲しい情報、を選択して見られるような何らかの工夫
- ・市政だよりなど文字の大きさを見やすく
- ・どう使うか考えなくても普段の生活で使えるような使い方がすーっと出るようなもの

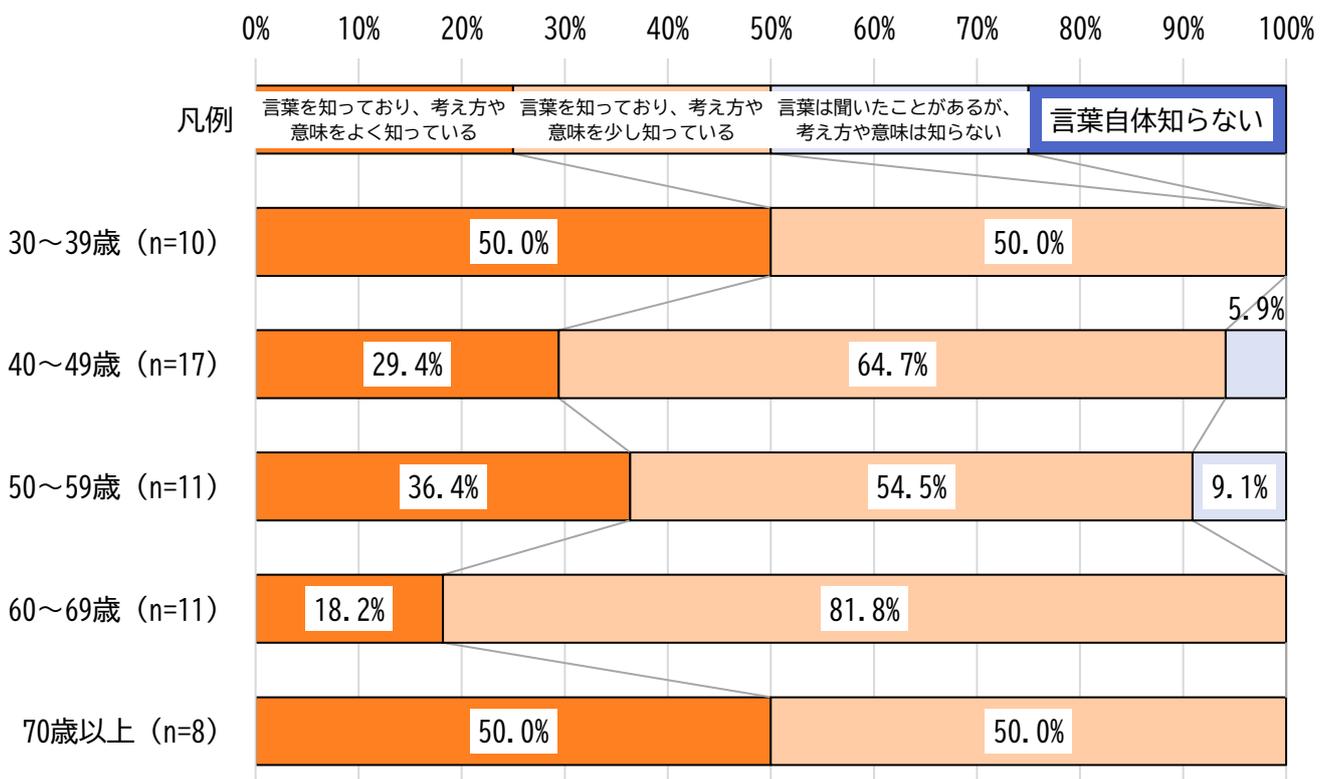
2. ユニバーサルデザインについて伺います

問7：あなたは、ユニバーサルデザインという言葉を知っていますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
言葉を知っており、考え方や意味をよく知っている	20	35.1%
言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている	35	61.4%
言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない	2	3.5%
言葉自体知らない	0	-



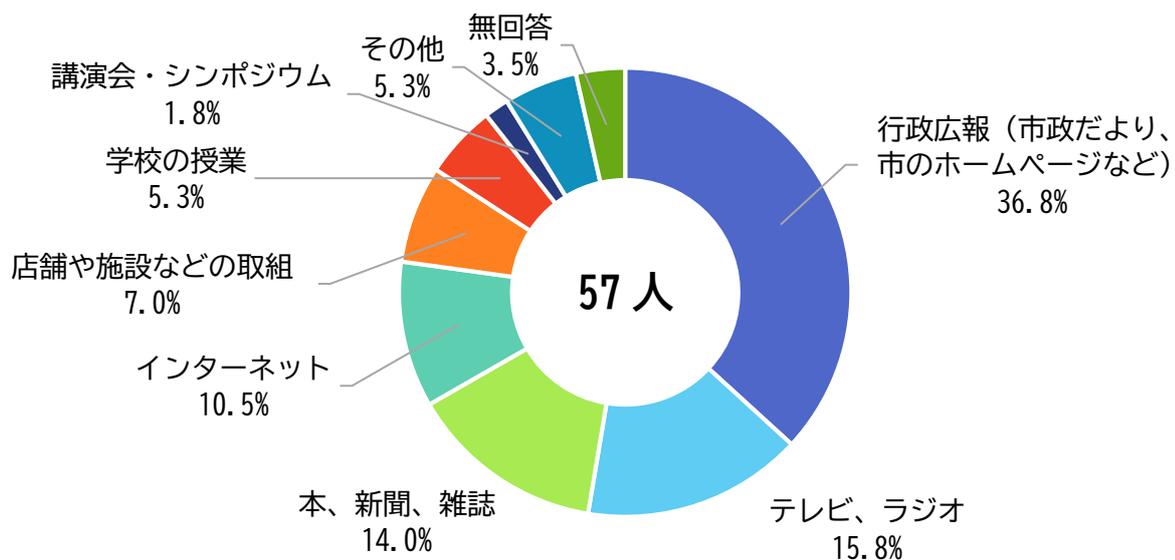
【年代別】



【問7で「言葉を知っており、考え方や意味をよく知っている」または「言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている」または「言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない」を選んだ方にお伺いします】

問8：「ユニバーサルデザイン」という言葉をどのようにして知りましたか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

項目	人数(人)	割合
行政広報（市政だより、市のホームページなど）	21	36.8%
テレビ、ラジオ	9	15.8%
本、新聞、雑誌	8	14.0%
インターネット	6	10.5%
店舗や施設などの取組	4	7.0%
学校の授業	3	5.3%
講演会・シンポジウム	1	1.8%
その他	3	5.3%
無回答	2	3.5%

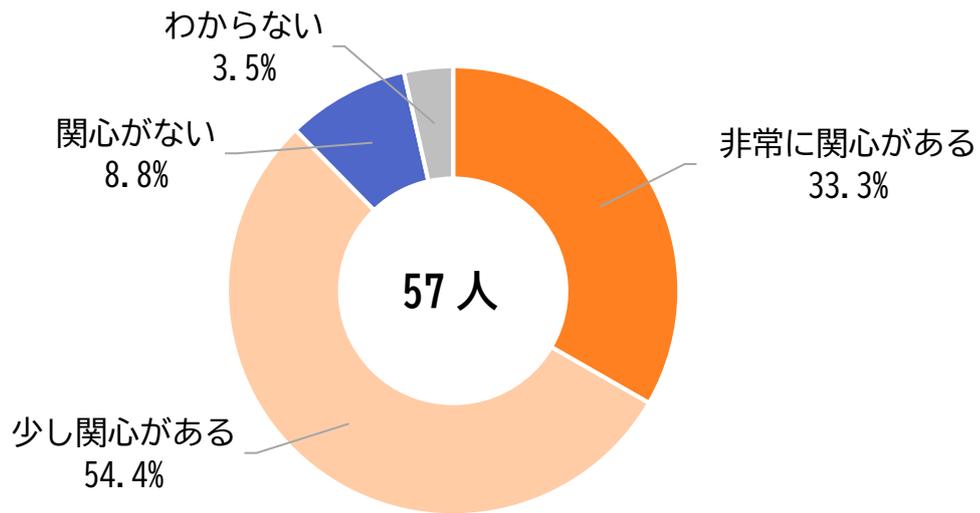


【「その他」の内容】

- ・ボランティアの講習会
- ・このアンケート、同様なテーマを何回も
- ・業務上、使用する機会がある。

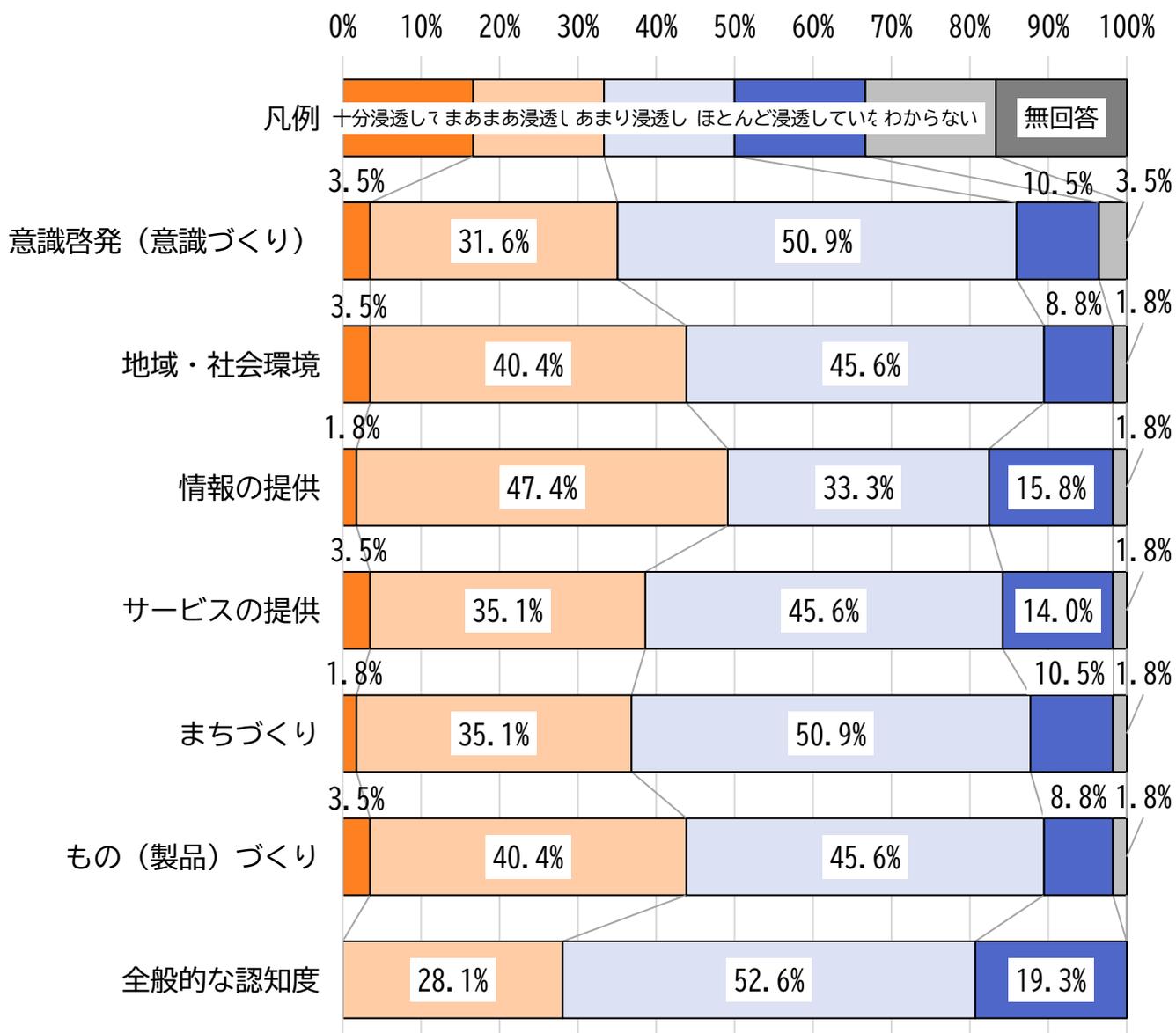
問9：あなたは「ユニバーサルデザイン」に関心がありますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
非常に関心がある	19	33.3%
少し関心がある	31	54.4%
関心がない	5	8.8%
わからない	2	3.5%



問 10：あなたの日常生活の中で、下にあるそれぞれの分野のユニバーサルデザインやその取組が、どの程度浸透していると思いますか。（それぞれあてはまるものを1つ選んでください。）

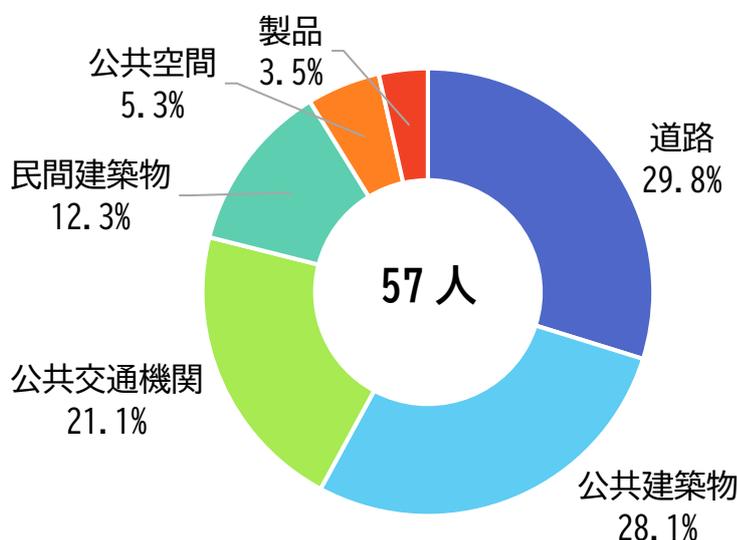
項目	内容
意識啓発(意識づくり)の取組について	思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性についての啓発など
地域・社会環境について	地域での支え合い、交流の場づくり、防犯・防災などの安全・安心な環境づくり
情報の提供について	様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ、情報の利用しやすさ
サービスの提供について	手続きの簡素化、気配りある対応など
まちづくりについて	施設設備、道路、公園、公共交通など
もの(製品)づくりについて	誰もが使いやすい製品の開発、普及など
全般的な認知度について	「ユニバーサルデザイン」という言葉やその意味



問 11：あなたが、ユニバーサルデザインの考え方を特に導入していくことが必要だと考えるのはどれですか。（「ハード面」「ソフト面」それぞれにあてはまるものを1つ選び、その理由をお書きください。）

【ハード面】

項目	人数(人)	割合
道路（歩道、車道）	17	29.8%
公共建築物（庁舎、公民館・市民センター、市営住宅、学校 等）	16	28.1%
公共交通機関（バス、タクシー、鉄道）※車両のほか、附属する施設・設備も含む	12	21.1%
民間建築物（商業施設、商店街、宿泊施設 等）	7	12.3%
公共空間（公園、広場 等）	3	5.3%
製品	2	3.5%



◎具体的に導入が必要と考える理由

【道路（歩道、車道）】

年代	回答
30代	みんなが使うところなので大事だと思う。
30代	みんなが歩く道が最も必要だと思う。
30代	車椅子の方が難儀していることをよく見かけるため。
30代	命に関わるから。
30代	歩道を車いすが通りやすくするなどの工夫が必要と思われる。
40代	道路、歩道すべてぼこぼこ。ユニバーサルデザイン以前の状態。歩道、自転車道、車道全てダメ。
40代	皆が利用するから。
40代	郡部の幹線道路に歩道がないところがあるため。

年代	回答
40代	段差があったり歩道が狭かったりすることが多い。
50代	歩道を高速で走る自転車の排除が必要。
50代	生命にかかわるから。
50代	歩道が狭くて歩き辛くて危険
60代	やっただけでその後のメンテナンスがやられていないように感じる。
60代	旅行者も多いので、市内でよくある中央通り～神明通りの左・直進・右などの道路（色でわかる）。
70歳以上	車道や歩道の平坦性が非常に悪く特に高齢者の歩行に優しさが無い。
70歳以上	歩道が平らでないところが多く、高齢者や足の不自由な人に不安があると思います。

【公共建築物（庁舎、公民館・市民センター、市営住宅、学校 等）】

年代	回答
40代	利用者が沢山いるから。
40代	公共施設において古い場所があるから。
40代	まずは、公共からがよいと思います。
50代	さまざまな場面で導入すべきとは思いますが、優先順位としては誰もが利用する頻度の高い場所だと考えます。
60代	広く一般市民が利用するものだから。
60代	市民が多く利用するから。
60代	多くの人が必要として利用する施設であるから。
60代	トイレ設備の使いやすさ、荷物の置き場など。
60代	市民の利用する機会が多いため。
70歳以上	市民が良く利用する施設だから特に年寄りには配慮する必要がある。
70歳以上	ほかのモデルになるように、公共建築物からやるべきである。

【公共交通機関（バス、タクシー、鉄道） ※車両のほか、附属する施設・設備も含む】

年代	回答
30代	会津若松市では、特に移動手段の課題が大きいと思います。車を持っていないと不便ですが、車がなくても公共交通機関が充実し、使い易い（わかりやすい、利用し易い）ものであれば、安心して車ではない手段に切り替えることができると思うからです。
40代	優先順位が高い気がするため。
40代	バスにはユニバーサルデザインが普及してきているが、タクシー等はずっと変わっていないように思える。
40代	日常生活で必要なものだから。

年代	回答
40代	必要
40代	公共交通機関が発達していないので、大都市に比べて遅れている。
50代	都会のように車がなくても不便を感じる事がないなら良いが、生活の手段として必要不可欠だから。
50代	どんな人でも利用するものであり、使わない人はごく一部しかいない。
50代	介護をしていた時期、交通機関の不便さを感じていた。
60代	利用しやすく
60代	外出するとき必要

【民間建築物（商業施設、商店街、宿泊施設 等）】

年代	回答
30代	こどもと一緒に出かけるときに使いやすくなって欲しい。
40代	公共施設は職員さんが利用者を支援することが期待できるが、民間では支援が行き届かないと思われるため、ハード面での対応を進める必要が高いと思います。
50代	不特定多数の人が利用するから。
60代	大型施設では導入されているが、中小施設ではまだ不十分。
70歳以上	民間建築物は所有者意識により差異が大きい。
70歳以上	多くの方が、関心があると思う。

【公共空間（公園、広場 等）】

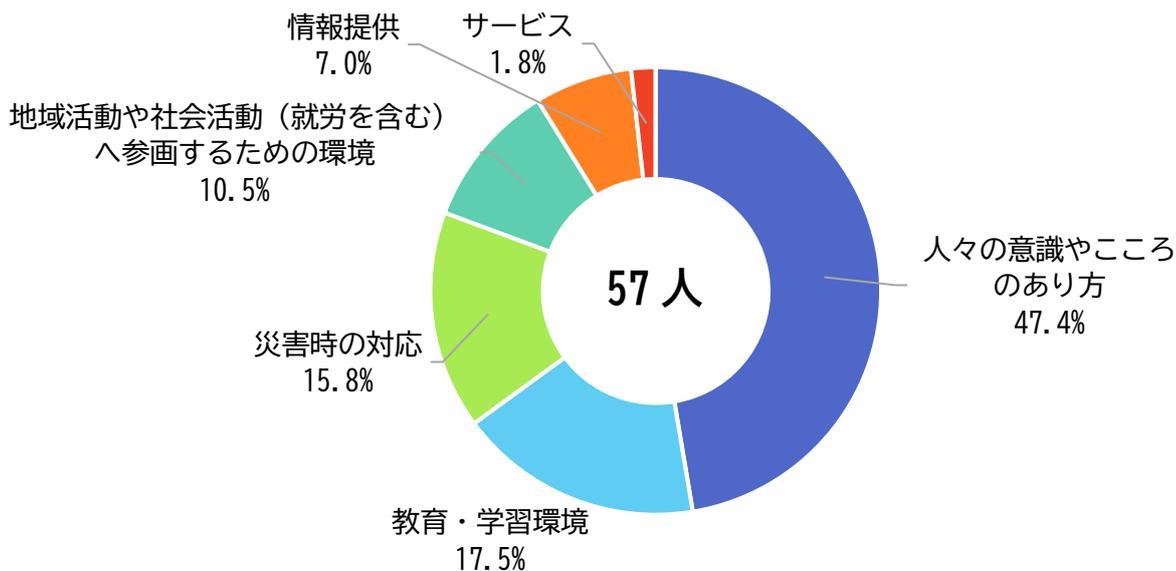
年代	回答
40代	公共空間に必要
60代	いろいろな方が安心して使用できるところが少ない。
70歳以上	近くにある公園があまり活用されていないため、造れは使う側の責任は通用しない。

【製品】

年代	回答
30代	日常に使いやすさは必要だから。
40代	ティッシュなどへ印字したもの

【ソフト面】

項目	人数(人)	割合
人々の意識やこころのあり方	27	47.4%
教育・学習環境	10	17.5%
災害時の対応	9	15.8%
地域活動や社会活動（就労を含む）へ参画するための環境	6	10.5%
情報提供（ホームページ、印刷物、案内表示 等）	4	7.0%
サービス	1	1.8%



◎具体的に導入が必要と考える理由

【人々の意識やこころのあり方】

年代	回答
30代	まずは個人の意識からと思う。
30代	ハードの取り組みが進んでも、その使い方や意図がわからないと効果は半減する。
30代	人々の意識が変われば、他項目もより良いものに変化していくと思う。
30代	なんとなく
30代	ユニバーサルデザインの認識が薄く、浸透していないから。
40代	まだまだ意識が足りない気がする。
40代	意識がある、ないで行動も変わるから。
40代	心に余裕のない人が増えていると感じるから。
40代	意識改革が必要
40代	ひとりひとりの意識がなければ全く意味のない事だと思う。
50代	意識を持たない層への教育が必要
50代	ひとりひとりが意識すればもっと浸透すると思うから。
50代	差別意識がつよいのでは？

年代	回答
60代	心の持ち方が大事だと考えるので教育に力を入れてほしい。
60代	偏見を無くして自分と違う立場の人を思いやることができるかという、とても大切なことだから。
60代	お店や飲食店での対応におもてなしの心や意識が不足していると感じる場面が時々ある。
60代	一人一人が生活の中で、ゆとりのある気持ちや気付いたことを共有できる場所が必要だと思う。
60代	基本だと思う。
60代	すべての基礎となるのは人々の意識と心のあり方だから。
60代	すべての人が過ごしやすい環境にしておく。
70歳以上	意識してユニバーサルデザインを普及させる必要があるから。
70歳以上	高齢化に伴う高齢者に対する環境の「優しさ」が少ない様に思われる。
70歳以上	人々の意識と行動には大きな離れがある。
70歳以上	生きがい大切と思う。

【教育・学習環境】

年代	回答
30代	まだまだ知らないことが多いので伝えていきたい。
30代	ソフト面においては、相互理解が大切だと思います。そのためには、教養として相手の心理や状態を知る、考える機会が必要だと思います。
40代	認知度を上げることが大切
40代	子供のころから教えないとダメ
40代	子供のうちに学んでほしい。
40代	市：学校により公立なのにはばらつきがある。
50代	意識や考え方から、どの場面でも変わっていくと考えますが、その為の教育が大人も含め重要だと感じます。
60代	多様な現代なので、啓発活動が必要だと思う。

【災害時の対応】

年代	回答
30代	命に関わるから。
40代	命に関わる状況で、みんながスムーズに安全確保できる体制づくりは優先事項だと思います。
40代	災害時の訓練
60代	人命を護ることが最優先される。
60代	緊急時こそ、この考え方が大事だと思う。

年代	回答
60代	わかりやすく、速やかに避難できるか。
70歳以上	まずは災害への備えが重要である。

【地域活動や社会活動(就労を含む)へ参画するための環境】

年代	回答
40代	体験を通して認知度を深めていてもらいたいと思う。
50代	参加したくても出来ない方が参加する・しないの選択が出来るようになる。
70歳以上	若い人にも、協力してもらえるような環境作りが必要だと思います。
70歳以上	心の教育が叫ばれて久しいが、果たしてこれが育っているか、疑問だ。社会・学校教育では、やはり、「心の教育」が最優先課題だと思う。

【情報提供（ホームページ、印刷物、案内表示 等）】

年代	回答
30代	ハンディキャップをお持ちの方でも情報を得られやすい環境が必要だから。
40代	なんとなく
50代	誰しものが利用できるから。
50代	どこに何があるかは少しでも知るべきだし、困っている人がいれば、教えてあげるべき。

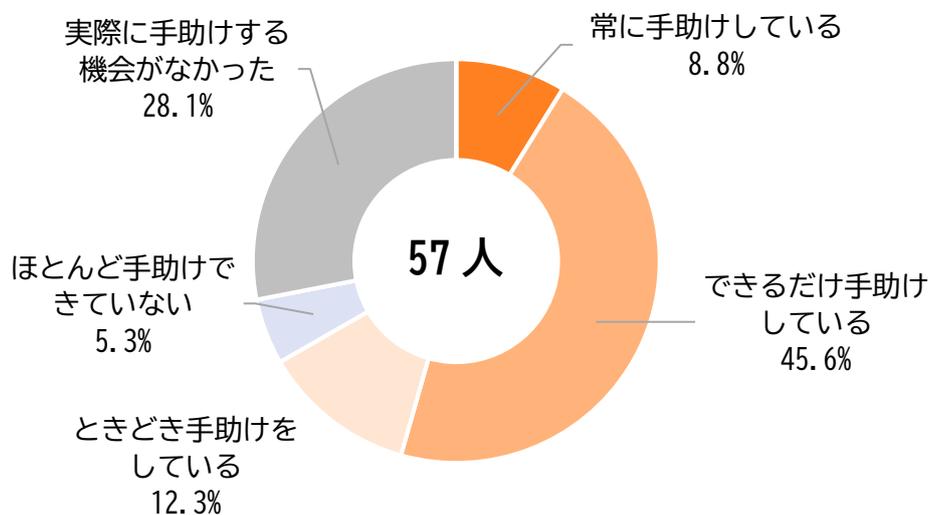
【サービス】

年代	回答
40代	必要

3. こころのユニバーサルデザインについて伺います

問 12: あなたは、車いすの方が段差で進めなくなっていたり、視覚や聴覚に障がいのある方が、迷っていたりした場合、手助けしていますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
常に手助けしている	5	8.8%
できるだけ手助けしている	26	45.6%
ときどき手助けをしている	7	12.3%
ほとんど手助けできていない	3	5.3%
手助けしていない	0	-
実際に手助けする機会がなかった	16	28.1%



【問 12 で「ほとんど手助けできていない」または「手助けしていない」を選んだ方にお伺いします】

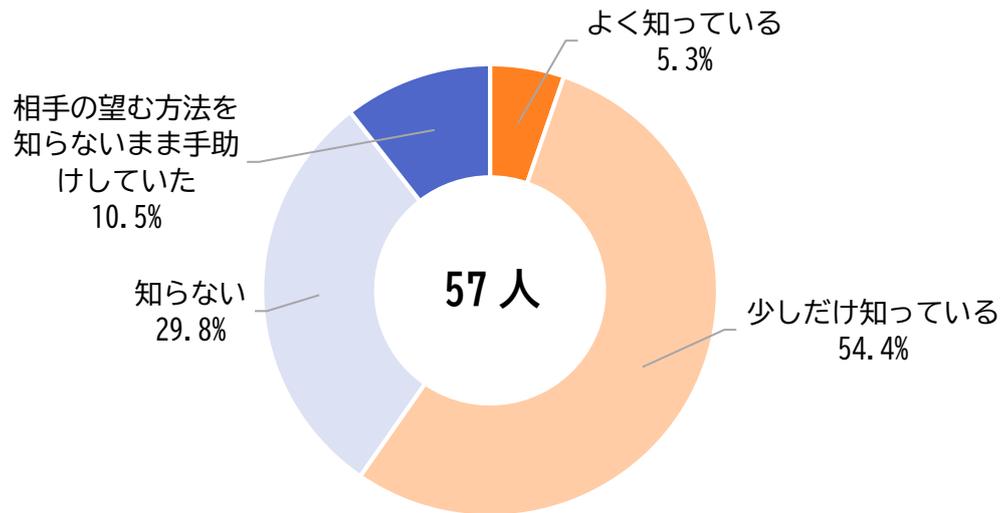
問12-1: 問 12 への回答の理由を教えてください。(あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)
対応方法がわからないから	2
専門の人や関係者等に任せの方が良いと思うから	1

計 3

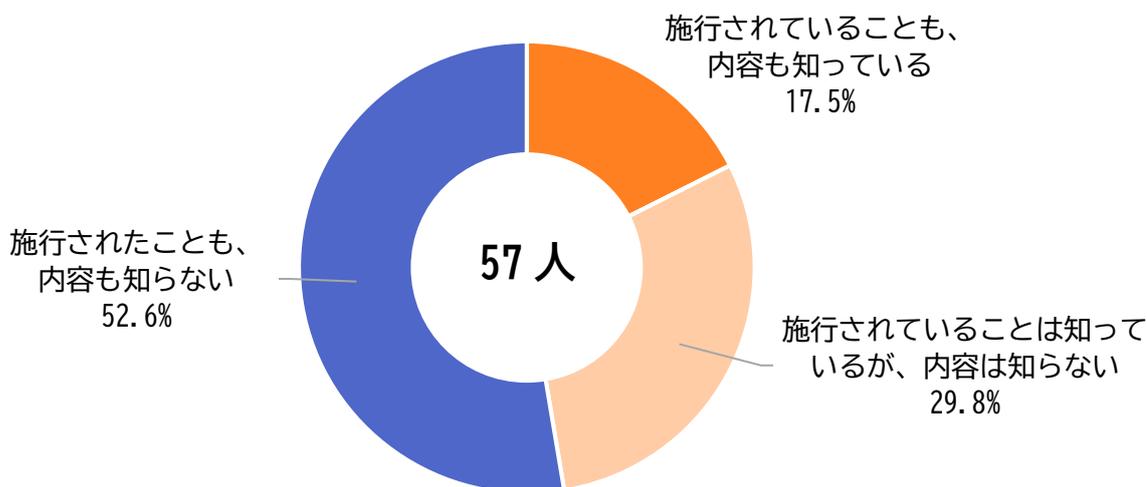
問 13：こうした困っている状況の方への声のかけ方や手助けの仕方を知っていますか。
(あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
よく知っている	3	5.3%
少しだけ知っている	31	54.4%
知らない	17	29.8%
相手の望む方法を知らないまま手助けしていた	6	10.5%



問 14：あなたは、障がいのある方への「合理的配慮」などが求められる「障害者差別解消法」についてご存知ですか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

項目	人数(人)	割合
施行されていることも、内容も知っている	10	17.5%
施行されていることは知っているが、内容は知らない	17	29.8%
施行されたことも、内容も知らない	30	52.6%



【障害者差別解消法とは】

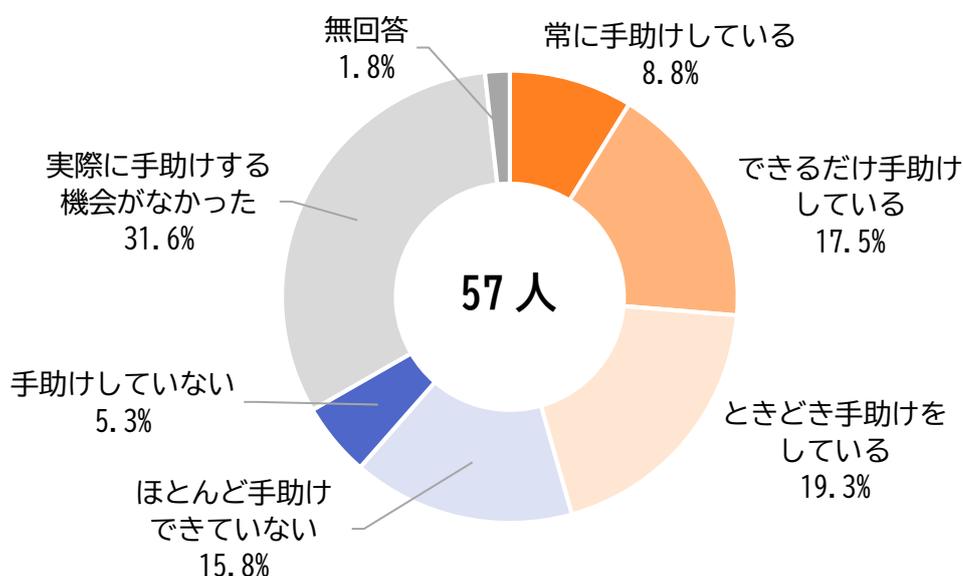
正式名は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」

すべての人が障がいの有無によって分け隔てられることなく、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的とした法律で、平成28年4月1日に施行されました。この法律では、障がいを理由とする不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供が求められています。

なお、令和6年4月1日から、事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されます。

問 15：あなたは、外国の方が道や駅などで迷っていたりした場合、声をかけて手助けしていますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

項目	人数	割合
常に手助けしている	5	8.8%
できるだけ手助けしている	10	17.5%
ときどき手助けをしている	11	19.3%
ほとんど手助けできていない	9	15.8%
手助けしていない	3	5.3%
実際に手助けする機会がなかった	18	31.6%
無回答	1	1.8%



【問 15 で「ほとんど手助けできていない」または「手助けしていない」を選んだ方にお伺いします】

問15-1：問 15 への回答の理由を教えてください。（あてはまるものを1つ選んでください。）

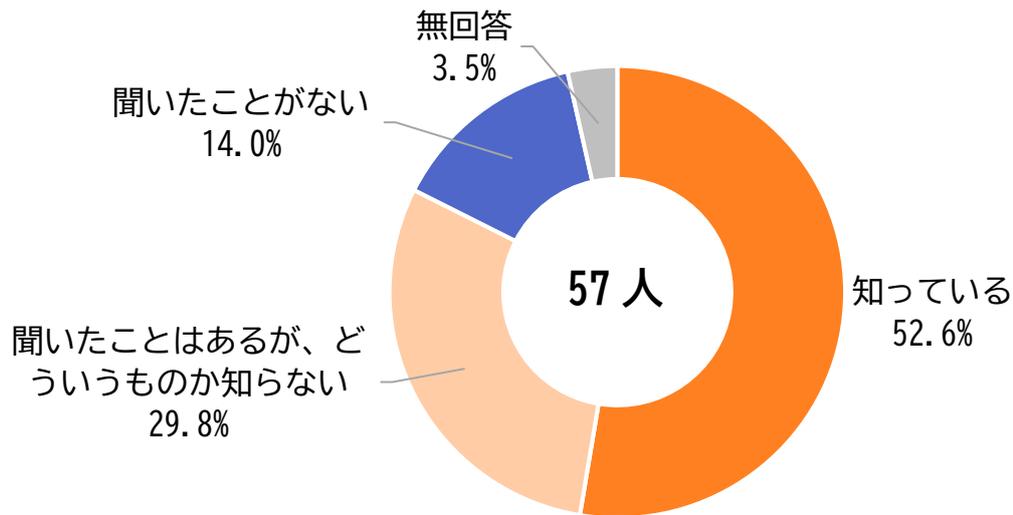
項目	人数(人)
外国語が分からないから	10
専門の人や関係者等に任せの方が良いと思うから	2
計	12

問 16：あなたは、「ヘルプマーク（※）」を知っていますか。
 （あてはまるものを1つ選んでください。）

項目	人数(人)	割合
知っている	30	52.6%
聞いたことはあるが、どういうものか知らない	17	29.8%
聞いたことがない	8	14.0%
無回答	2	3.5%



ヘルプマーク

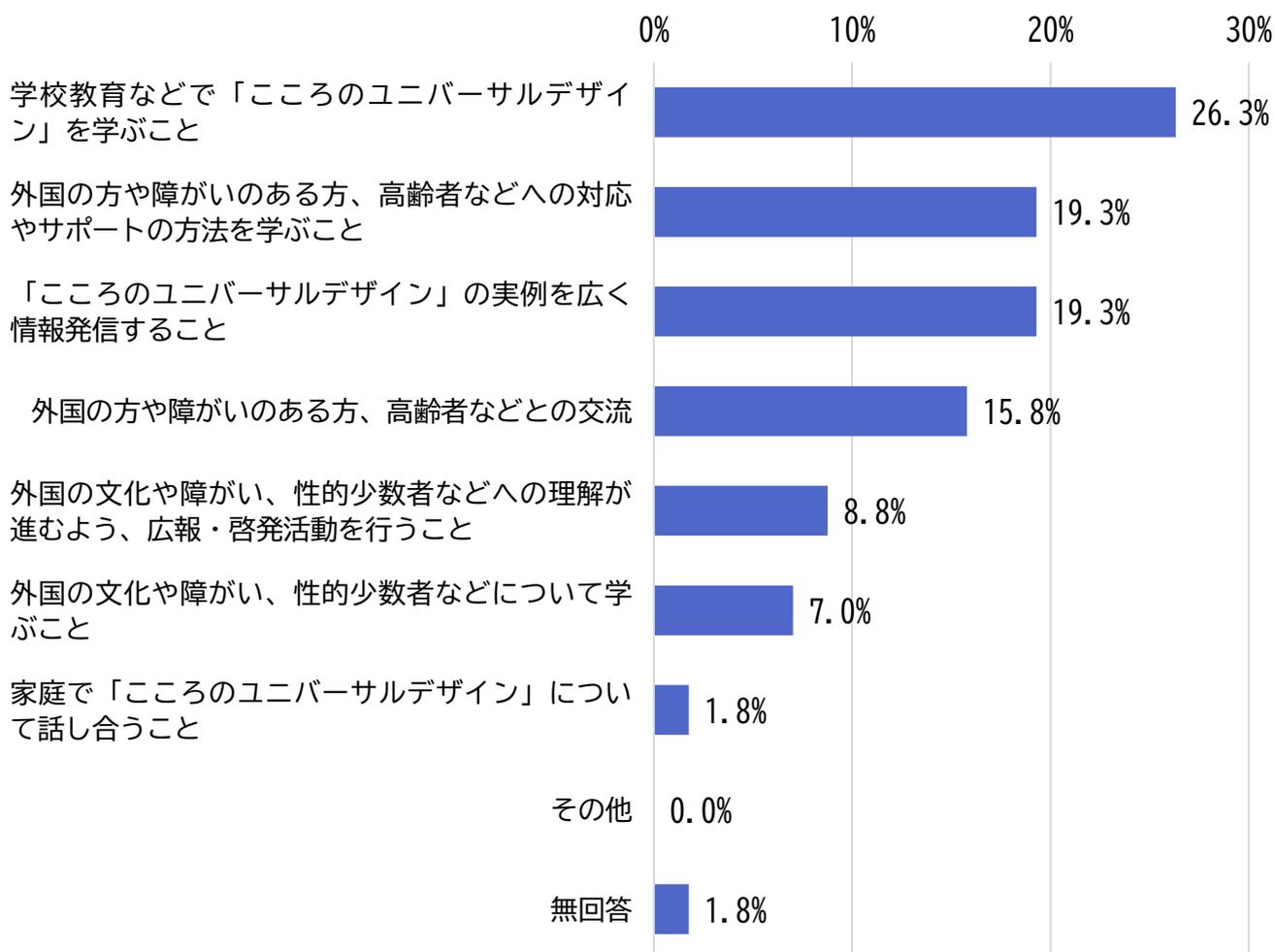


（※）ヘルプマーク：様々な疾患があったり、妊娠していたり、支援や配慮が必要であっても外見からはわかりにくい人が、支援や配慮を他の人に求めるために身につけるもの

問 17：「こころのユニバーサルデザイン」の実践のためには、どのような取組が必要だと思いますか。（最もあてはまるものを1つ選んでください。）

項目	人数(人)	割合
学校教育などで「こころのユニバーサルデザイン」を学ぶこと	15	26.3%
外国の方や障がいのある方、高齢者などへの対応やサポートの方法を学ぶこと	11	19.3%
「こころのユニバーサルデザイン」の実例を広く情報発信すること	11	19.3%
外国の方や障がいのある方、高齢者などとの交流	9	15.8%
外国の文化や障がい、性的少数者（※）などへの理解が進むよう、広報・啓発活動を行うこと	5	8.8%
外国の文化や障がい、性的少数者などについて学ぶこと	4	7.0%
家庭で「こころのユニバーサルデザイン」について話し合うこと	1	1.8%
その他	0	-
無回答	1	1.8%

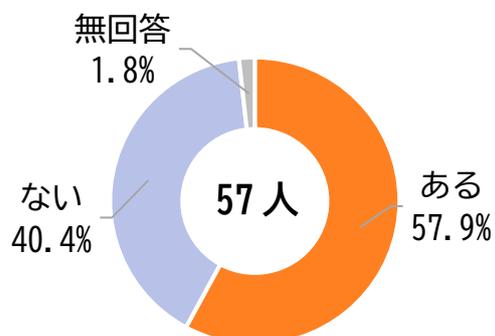
（※）性的少数者：自分が感じる自身の性別（性自認）や、恋愛などの対象となる性別の方向性（性的指向）を理由に、生きづらさを感じている方々を総称する言葉。LGBTと称されることが多い。



4. 最後に、ユニバーサルデザイン（「こころのユニバーサルデザイン」を含む）全般について伺います。

問 18：あなたは日常生活で「ユニバーサルデザイン」を取り入れた施設や設備、商品、サービスなどを利用した経験がありますか。（シャンプーボトルの凹凸や駅の多言語表記、サービス等の内容など）

項目	人数(人)	割合
ある	33	57.9%
ない	23	40.4%
無回答	1	1.8%



【問 18 で「ある」を選んだ方にお伺いします】

問 18-1：特に重要だと思ったもの・利用しやすかったと思うものとその理由を教えてください。

【施設・設備】

年代	回答	理由
30代	施設・設備（トイレ）	だれでもトイレ
30代	施設・設備（トイレ）	トイレ
30代	施設・設備	センサー式の蛇口や自動ドアは感染対策としても安心して利用できる。 ノンステップバスは健常者にとっても乗り降りしやすい。
40代	施設・設備（スロープ）	建物への出入り口のスロープ設置
40代	施設・設備（自動販売機）	自動販売機の小銭投入口が、受け皿付きで入れやすいと感じました。
40代	施設・設備	車いす、松葉杖になった際の病院の構造など。
40代	施設・設備	公共商業施設での出入り口段差がなくなっている
50代	施設・設備	施設のバリアフリー、横断歩道の音楽、案内板に外国語表示
50代	施設・設備	段差の無い道や、建物のスロープ、エレベーターなど
50代	施設・設備（休憩場所）	広い店舗で所々に椅子が置いてあり、体力がない、足が不自由な方など休みながら買い物を続ける事が出来る
50代	施設・設備	病院。当然だと思いが、配慮が行き届いている。

年代	回答	理由
60代	施設・設備（トイレ）	広いトイレ。駅やいろいろな場所に高齢者でも安心して使えるトイレがあるので、介護の時に利用してとてもよかった。
60代	施設・設備	階段の近くのスロープやエレベーター。駅などで、利用しやすくなったと感じる。

【案内表示】

年代	回答	理由
60代	案内表示（点字）	気付かないところに点字が有ったりする。
60代	案内表示（多言語）	多言語表記
60代	案内表示	案内標識：車で初めて訪れた街などではとても助かる。 絵文字：文字の案内ではなく分かりやすい大きな絵だとすぐに認識できる。
60代	案内表示	トイレマーク。視覚的にもわかりやすいため。
60代	案内表示	トイレの目印、バス・電車などの道案内（目印のマークが見やすい）。目につきやすく、利用しやすくなった。
70歳以上	案内表示（多言語）	駅の多言語表記。JRの駅等は様々な国の多くの方が利用するので多言語表記は利用者にとってとても安心できると感じた。

【製品】

年代	回答	理由
30代	製品（洗濯機）	洗濯機に点字があると思う。
30代	製品	具体的には忘れたが、コクヨ製品全般
40代	製品（シャンプー）	シャンプーの容器は、非常にわかりやすいですね。
60代	製品（シャンプー）	お風呂とかで目を閉じたときに使うシャンプー、トリートメントのボトル。万人が同じ状況で使用するとき役に立つボトルに点字などの記載がある。
70歳以上	製品（ダンボール）	送られてきたダンボールが、凄く簡単にたためた事を思い出しました。
70歳以上	製品（食器）	コーヒーカップ、スプーンなど、手指で使用するものが代表例として挙げられる。

【その他】

年代	回答	理由
30代	その他	意識せずとも使い方（示すもの）がわかること。

問 19：その他、本市のユニバーサルデザインの推進に関し、ご意見やご提案などがありましたらお聞かせください。

年代	内容
30代	インフラ設備のユニバーサルデザイン導入には、通常よりもコストがかかります。しかし、必要だと思えます。なるべく予算で妥協しないでほしいです。
30代	移動の格差がどんどん進行しています。高齢化社会は解消されないため、インフラの整備が急務と捉えます。
30代	自分自身ユニバーサルデザインを意識して生活していないので、ユニバーサルデザインを必要としている人達の声を聞いて、お互いに心地よいサポートができるよう学べる場所や交流があるといいと思った。
40代	これからも推進をしていってほしい。
40代	ユニバーサルデザインがわからないので、市政だよりで毎月発信すると思えます。また対応等は、できることから。
40代	子どもたちが遊ぶ公園でも取り入れてほしい。
40代	子供が安心して通学できる歩道の整備をお願いします。
40代	市政だよりで分かりやすく教えて欲しい。
40代	小中学校で授業に取り入れているので、子どもたちは意識が高いかもしれませんが、30代以降の人たちは学校では習っていないので誰もが知っているわけではなく、意識が低い人も多いと思うので、そちらの世代への啓蒙をすすめるとよいと思えます。
40代	多くの人を知るには学校やイベントで学ぶといいと思う。
40代	鶴ヶ城内の展示物への多言語表示が少ない。
50代	観光の方の意見として、外国語表記が少なすぎるそうである。
50代	自分自身が困らない事は、なかなか理解できないことも多くあります。学ぶ機会が増え、思いやりのある街になると良いなと思えます。
50代	実際に使用している企業等について、市政だよりで特集を組み、相互理解につなげてほしい。
60代	<ul style="list-style-type: none"> ・車線変更の必要な案内標識は掲示位置を考慮してほしい。 ・物に関してはそれがユニバーサルデザインとか考えることなく浸透していると思う。人の意識はなかなか変わらない。電車で妊婦の方や高齢者の方が立っていても座先に荷物を置いているのをよく見かける。アナウンスでの呼びかけをこまめにして座席に荷物を置かない絵文字の掲示をしてほしい。
60代	学校教育から教育してほしい。
60代	現在建築中の市役所庁舎にユニバーサルデザインを十分に生かしていけば市民に対する啓発にもつながると思う。
60代	子どもの頃（なるべく小さいころから）点字などにふれる機会があれば、抵抗なく使ったりできると思う。道徳の授業のような他人を思いやる気持ちを育てるのと同じように。
60代	道路整備。冬季の歩きやすい・通りやすい道路へ。
60代	特に外出した時にユニバーサルデザインで便利になり、行動がスムーズにできるようになった。

年代	内容
70 歳以上	ユニバーサルデザインの必要性も含めてPRの拡大を望みます。
70 歳以上	我々の生活の中で、片仮名や略字表記が使われることが多く、これらがすべての人に理解されていると思っていると、あとでしっぺ返しがかかることがある。安易に使わないことも相手に対する愛情だと思う。美しく長い歴史のある日本語を正しく使う社会ができればと考える。
70 歳以上	市民に浸透するように広報活動にもっと力を入れるべきだと思う。
70 歳以上	若松市はよくやっていると思うが、県全体については知らない。
70 歳以上	色々と考えられていて、少しずつ判りやすくなっていると感じています。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。